

Smile

睦合中学校
3学年だより
11月号 11月2日

「結果にコミットする睦中生」

「結果にコミットする」とは、某ダイエットメーカーのキャッチコピーですが、「コミット」とはどういう意味か知っていますか？

どうやらコミットとは「結果で成果が出るように集中する」という意味らしいのです。恥ずかしながら私も分からないまま最近まできていて、テレビで紹介していて初めて知った次第です。（以下、コミットと表現）

睦中生を見ていて、部活動やテスト、特に学校行事では「コミット」できる人が多いように感じています。

むつみの祭では、優秀賞が5組、スクールトップが1組でした。この2クラスは前評判も良く、練習中に廊下で他クラスが見に来ている様子を何度も見ました。授業のたびに「うまいらしいね？」と聞いても、絶対に「まだまだです」と答えていました。その様子を見ていて、「追われる立場の苦しみ」を肌で感じました。

また、賞の取れなかった2組・3組・4組。こちらは「追う立場の強み」があったように思えました。あの2クラスに追いつけ追い越せて、練習にも工夫と勢いがありました。言うならば、希望、挫折、絶望、そして復活を繰り返していたように思えます。

両者ともに、賞というよりも、「本番で一番良い合唱をしたい」という結果に向けて「コミット」できていた人が多かったと思います。

合唱も終わり、次は期末テストに進路という、クラスというより自分自身の戦いが始まります。高校で人生の全てが決まってしまうことはありませんが、そう感じる人も多いと思います。

進路に対しても「結果にコミット」しましょう。

宮崎 勇弥

生活について 『覚悟を決める』

今月は『覚悟を決める』です。説明は不要だと思いますが、進路ですね。今、テスト前みなさん学習をがんばっている最中だと思います。その結果(2学期の成績)が、進路を左右することは言うまでもありません。なりたい自分と今の自分のギャップにため息が出る人もいるかもしれません。しかし、自分の将来を決めるのは自分しかいないのです。最善を尽くして努力するのも自分。さぼるのも自分。どちらの自分も受け入れなければなりません。その「覚悟を決める」ということなのです。先日の学活で、2学期を振り返ってもらいましたが、勉強だけしておけばよいということでもありませんね。君たちは将来、社会に貢献する人間にならなければいけません。それに必要なことが、学習であり、気遣いであり、優しさであり、我慢であり、協力なのです。みなさんの覚悟に期待しています。君たちはできる子ですから。

生徒指導担当 萬木 康哲

学習について 進路決定に向けて

2学期の期末テストの大切さは理解していると思いますが、テストを終えると、いよいよ志願先を決める時期です。特に私立学校は、三者面談以降(進路希望表提出後)の変更ができません。今月は、『自分の進路と向き合い、考えを固める』と心得て、自分自身に語りかけてみましょう。9年間の義務教育を終え、初めて自分の進路を決める。進路選択を「大きな壁」だととらえずに、「高い山」だと考え、乗り越えていきましょう。苦しいと思わずに、しっかり準備をしておけば、大丈夫です。周りには、同じ悩みを抱えている仲間や先生方がいます。不安なことは、そのままにせず相談しましょう。

学習担当 濱地 彩

保護者の皆様へ

日に日に秋が深まる季節となりました。

むつみの祭も3年生の活躍で大成功を収め、生徒にとっても先生たちにとっても充実した夢のような一日となりました。

さて、いよいよ卒業後の進路について真剣に考え目標を決めなければなりません。11月6～8日は、期末テストです。体調を整えて臨ませてください。第4回進路希望調査をとり、三者面談を行います。くれぐれも十分相談してから面談にお越しください。



学年主任 齋藤 智枝子